

令和8年度 江戸川区立東小岩小学校 特別活動全体計画

校長名 佐々木恵子

【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領	学校の教育目標  ◎よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子	【地域の実情】 【学校の実情】 【児童の実態】 【教師の願い】 【保護者の願い】
---	--	--

特別活動の目標	児童が望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
---------	---

目指す児童像	活動の目標を全員でつくり、それを協力して実践できる子。 集団の中で、互いのよさを認め合うことができ、話し合いを通して互いに高め合うことができる子。
--------	--

特別活動の重点目標	学校、学年及び学級集団への所属感を深めると共に、異学年や地域の人々との交流を活発にして、生活向上への意欲を高める。
-----------	---

目標	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
指導の方針	学級の児童の好ましい人間関係を基盤としながら、学級生活の充実と向上を図り健全な生活態度を育成する。  低学年では仲良く助け合い学級生活を楽しくする態度、中学年では協力し合って楽しい学級生活をつくる態度、高学年では信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくる態度の育成を重視する。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。  児童会活動の指導にあたって、児童会の集団の特質をよく理解し、楽しい学校生活づくりのために、より望ましい異年齢集団活動として展開できるようにする。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。  学年や学級が異なる同好の児童によって行われるクラブの集団の特質をよく理解し、より望ましい異年齢集団活動として展開できるようにする。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。  全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり、共に喜びや苦勞を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにしたりするなど、望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な指導内容	(1)学級や学校の生活づくり 話し合い活動 係活動 集会活動 (2)日常生活や学習への適応及び健康安全	(1)児童会の計画や運営 (代表委員会活動、委員会活動、児童会集会活動) (2)異年齢集団による交流 (全校児童集会) (3)学校行事への協力 (代表委員会活動、委員会活動)	(1)クラブの計画や運営 (2)クラブを楽しむ活動 (3)クラブの成果の発表 (クラブ紹介)	(1)儀式的行事 (入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、離任式) (2)文化的行事 (学習発表会、展覧会、音楽会) (3)健康安全・体育的行事 (保健指導、安全指導、避難訓練、運動会) (4)集団宿泊的行事 (日光移動教室、ウインタースクール) (5)勤労生産・奉仕的行事 (飼育栽培活動)
他 の 教 育 活 動 と の 関 連	国語科を中心として各教科の指導で身に付けた言葉を的確に理解したり表現したりする能力を実践的に活用したり、能力を向上させたりする。 学校図書館の利用は国語科や読書科。心身共に健康で安全な生活態度の形成は体育科。食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成は家庭科と関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の学習に生かしたりできるようにする。	各教科で身に付けた能力などを、クラブ活動においてよりよく活用できるようにしたり、クラブ活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科の学習に生かしたりできるようにする。	各教科で身に付けた能力などを、学校行事においてよりよく活用できるようにしたり、学校行事で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科の学習に生かしたりできるようにする。特に学校行事は、平素の教育活動の総合的な発展の場であるから、日常の教育活動の成果が生かされるようにする。
特別の教科 道徳	低学年は、友達と仲よく、助け合い、働くこと、のよさを感じてみんなのために働くこと。中学年では友達と互いに理解し、信頼し、助け合い、働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。高学年では互いに信頼し、男女仲よく協力し助け合い、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	低学年は学校の人々に親しんで、学校の生活を楽しくすること。中学年はみんなで協力し合っで楽しい学校をつくること。高学年はみんなで協力し合いよりよい校風をつくることを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げること。5・6年生はより高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力することを重視する。	低学年では気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などを心掛けて、明るく接すること。中学年では礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接すること。高学年では時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することを重視する。
外国語活動	互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力を実践的に活用したり、向上させたりする。	言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知り、積極的にコミュニケーションを図る態度を重視する。	言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知り、積極的にコミュニケーションを図る態度を重視する。	言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知り、積極的にコミュニケーションを図る態度を重視する。
総合的な学習の時間	中学年では自分の生活をふり返って見直し、実践したり、他者と協働して課題を解決したりすること。高学年では自己の将来を考え、夢や希望をもったり、身の回りの地域とのかわりや考えを生活したりすることを重視する。	自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を実践的に生かせるようにする。	自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を実践的に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の自然を対象とした学習と集団的宿泊行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。 基本的な生活習慣の形成、当番活動等の役割と働くことの意義の理解、心身共に健康で安全な生活態度の形成、食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での教育と連携を図り一層効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな学校づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得る。	クラブ活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得る。	運動会や文化的行事を実施する場合に地域社会の人が参観しやすいように工夫する。
備考				